

文部科学省中央教育審議会 生涯学習分科会資料

人口減少時代の新しい地域づくりに向けた
社会教育の振興方策について
(参考資料)

 放課後 NPO
アフタースクール

平岩 国泰

諮問事項①

**関係者の連携と住民の主体的な
参画による新しい地域づくりに向けた
学習・活動のあり方**

参考事例：アフタースクール

- 放課後の学校を活用したアフタースクール
- 地域の**市民先生**が子どもたちの多様な活動をサポート
- 地域との接点が学校の授業にも好影響
- アメリカでは放課後のさらに後に学校が大人たちの学び場に

参考事例：SKAP（Social Kids Action Project）

- 小学生が街の課題を見つけ、解決策を提案するプロジェクト
- 街の人の声を聞き、自分たちはどのような街にしたいのかを提案
- 夏休みに実施、最終日には区長や自治体や地元の人に向けて発表
- 発表した内容の一部は実現に向けて動き出す

諮問事項②

**公民館、図書館、博物館等の
社会教育施設に求められる役割について**

参考事例：電子図書館

- 現在世界各国で「電子図書館」の取り組みが研究・試行されている
- 書籍の電子化が進むと、、、
 - ・各市区町村に図書館がある必要性が薄くなる
 - ・図書館に実際に置いておく本の数は少なくなる
 - ・図書館はより本との出会いの場や、他者との共感の場の役割に
 - ・公民館や博物館との複合施設として存在していく可能性が高まる
(常設型の施設から、ワークショップができるイベント型へシフト)

諮問事項③

**社会教育施設が求められる役割を
果たすために必要な具体的方策について**

参考事例：松山市青少年育成市民会議による 松山市青少年センターの運営

- PTA連合会、校長会、青少年健全育成連絡協議会などで2006年に設立
- 2011年より松山市青少年センターを指定管理にて運営受託
（市民会議にとって収入源の柱に）
- 柔軟な発想の事務局が社会の力を巻き込みながら魅力ある施設を運営

参考事例：渋谷区

○おとなりサンデー

6月の第一日曜日を“ふだん話す機会の少ない近隣の人と もっと顔見知りになる日”に。

○渋谷盆踊り大会

8月に開催。渋谷スクランブル交差点の「盆踊り大会」。地域オリジナルの盆踊りソングも。

○子どもこそ地域活性化の起爆剤

**○子どもを地域の担い手として
本気で巻き込むことが必要**

**○Society 5.0の時代に必要なのは、
むしろ人間的な出会い・繋がり**の場

**○行政がバックアップして、
市民が運営して魂を入れるのが成功パターン**

**○人が集うのは
明るく・楽しく・おいしく・美しい場**

 放課後NPO
アフタースクール